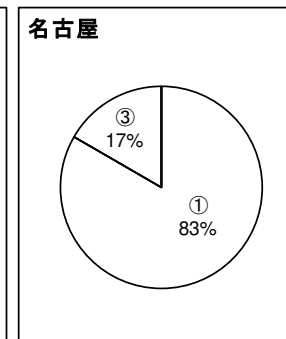
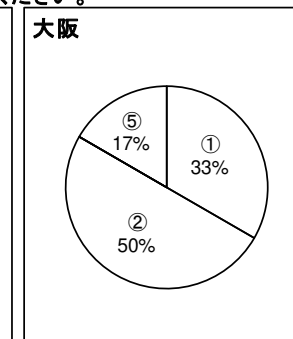
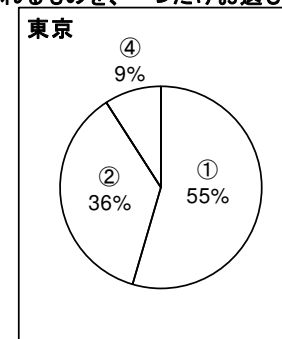


セミナーへのご参加、そしてアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

Q1.日本の産業の明るい未来にとって、確定給付企業年金は、どのような位置づけにすべきとお考えでしょうか。一番近いと思われるものを、一つだけお選びください。

	東京	大阪	名古屋	合計
① 日本産業の国際競争は、製品・サービスの質の高さに依存する。その質を維持するためには、雇用の質が重要となることから、安定雇用の柱として、改めて、確定給付企業年金は戦略的に重要なものとして再認知されるべき。	6名	2名	5名	13
② 確かに、安定雇用は重要だが、確定給付企業年金は、企業の財務的不確実性を大きくしてしまうので、確定拠出等への移行を通じた相対的縮小は、不可避。	4名	3名	0名	7
③ グローバル競争に勝ち抜くためには、確定給付企業年金は、日本企業の人事制度として、不要である。	0名	0名	1名	1
④ その他	1名	0名	0名	1
⑤ 無回答	0名	1名	0名	1
合計	11	6	6	23



Q2.金融庁は、資本市場の機能強化を目的として、コーポレートガバナンス・コード、ステュワードシップ・コード、フィデューシャリー・デューティーの施策を用いて改革を推進してきました。資本市場への参加者として、現時点での達成度はどの程度であると思われますか。

	東京	大阪	名古屋	合計
① すでに達成された	0名	0名	1名	1
② 7割程度達成している	1名	0名	1名	2
③ 5割以下の達成度	8名	4名	3名	15
④ まったく進んでいない	2名	1名	1名	4
⑤ 無回答	0名	1名	0名	1
合計	11	6	6	23

